

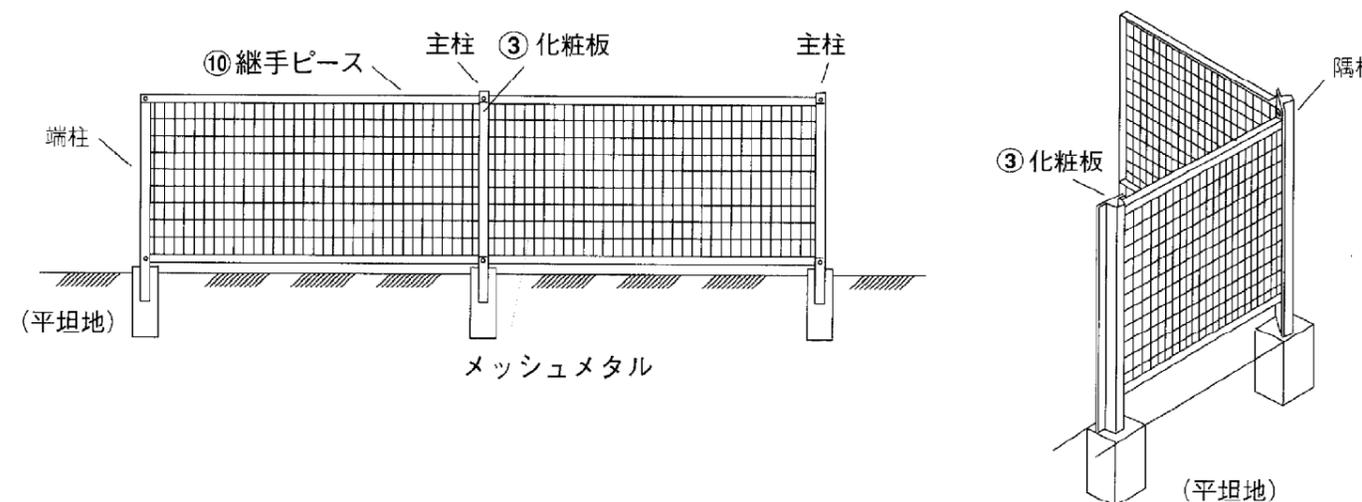
## ① 柱の位置を決め、基礎を設置します。

- 柱間隔は柱芯々2,000mmピッチで割付けてください。
- 通り芯を正確に出してください。

高さ	基礎寸法 G1×G2×G3(mm)	埋込寸法 B(mm)
H900	180×180×450	205
H1200	180×180×450	205
H1500	180×180×450	255
VB-H1800 VC-H1800	200×200×450	255
H2400	300×300×600	305
H3000	300×300×700	385



## メッシュフェンスFF型姿図

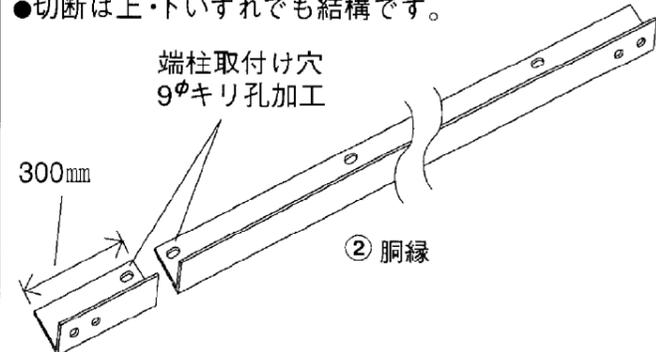


## ② 柱を建てます。

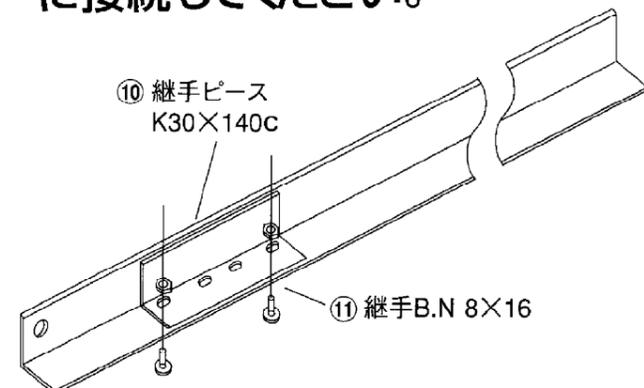
- 隅柱は軸芯より45°(90°)振り向けて設置してください。(隅部参照)

## ③ スタートの胴縁を切断します。

- 切断は上・下いずれでも結構です。



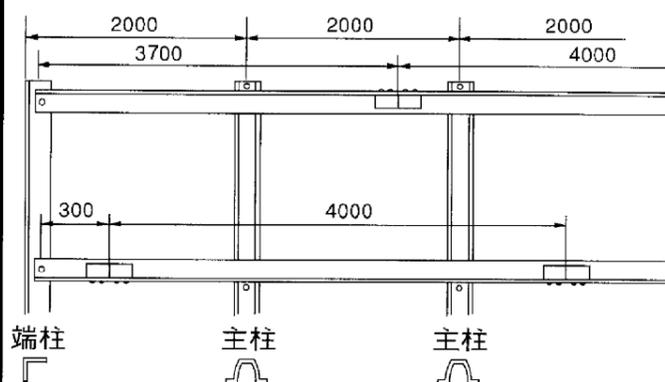
## ④ 300mmに切断した胴縁は下胴縁に接続してください。



## ⑤ 胴縁を柱に取付けます。

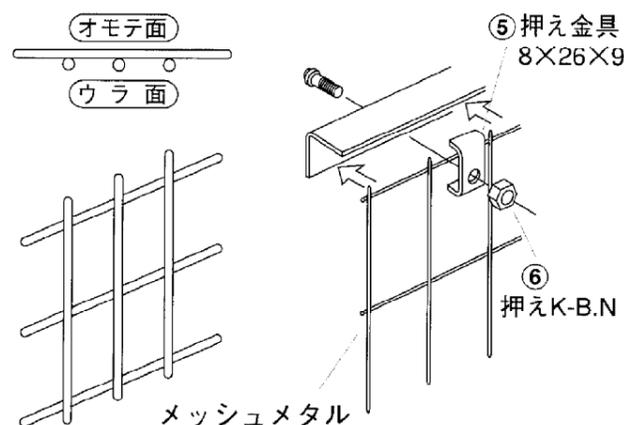
- 2本目からは標準の胴縁を使用し、継手ピースで接続していきます。

■上下胴縁取付要領■

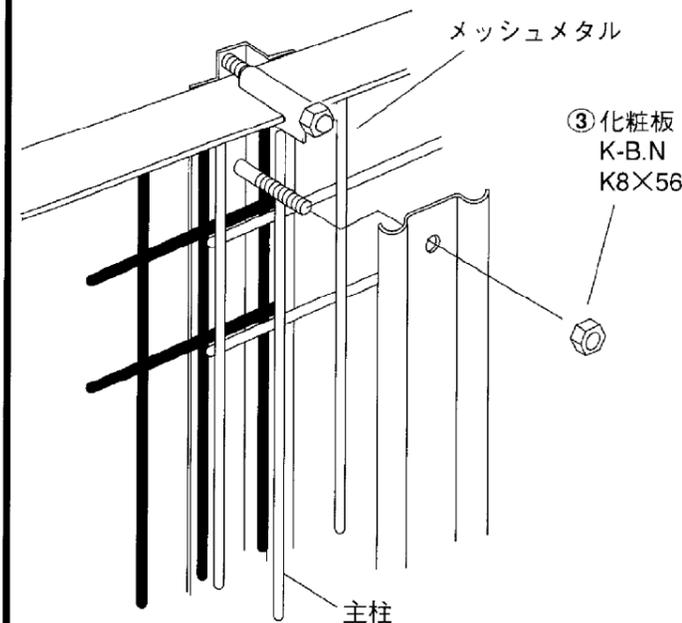


## ⑥ メッシュを取付けます。

- メッシュメタルは「表・裏」の区別があります。



## ⑦ 化粧板を取付けます。



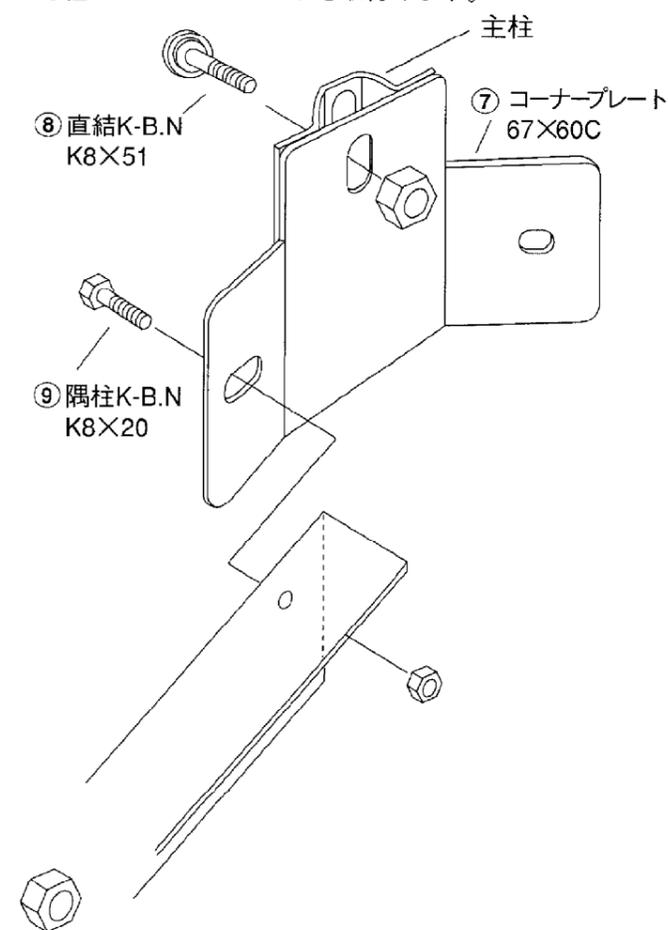
### 作業上の注意点

・短スパンは柱間隔に合わせてメッシュパネルを切断します。  
 ※切断部はバリを取り、補修塗料(タッチアップ)で補修してください。

**⚠ 注意** 短スパンでメッシュパネルを切断した場合は、取扱いに注意してください。  
 手にけがをすることがあります。

## 隅部

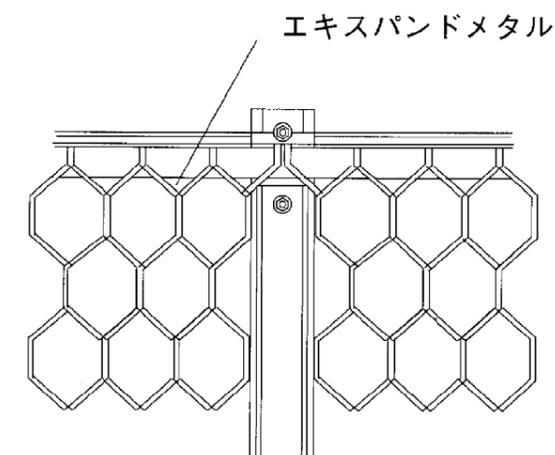
- 柱にコーナープレートを取付けます。



## 部品数量表

## メッシュフェンス FF型 (XF型)

品名	寸法・記号	形状	数量								
			H900	H1200	H1500	VB-H1800	VC-H1800	H2400	H3000		
主	① 止金具	4.5×25			2	2	2	2	2	2	
	② 胴縁 K - B . N	K8×82F		2							
		K8×90F			2						
		K8×95F				2	2				
柱	③ 化粧板 K - B . N	K8×109F						2	2	2	
		K8×51		3							
		K8×56			3						
		K8×65				4	4				
端	④ 端柱 K - B . N	K8×80						4	8	8	
		K8×20		4	4	4	4	4	8	8	
		⑤ 押え金具	8×26×9		8	10	14	14	14	20	28
		⑥ 押え K - B . N	K8×20		8	10	14	14	14	20	28
隅	⑦ コーナープレート	56×60C		2							
		67×60C			2						
		75×60C				2	2				
		92×60C						2			
		自在コーナープレート	C202×60×3C						2	2	
		中間自在コーナープレート	C202×80×3C						2	2	
⑧ 直結 K - B . N	K8×51		2	2							
	K8×56				2	2					
	K8×80						2	4	4		
	⑨ 隅柱 K - B . N	K8×20		4	4	4	4	4	8	8	
柱	③ 化粧板 K - B . N	K8×51		3							
		K8×56			3						
		K8×65				4	4				
		K8×80						4	6	8	
角根孔付胴縁	⑩ 継手ピース	K30×140C		1	1	1	1	1	2	2	
	⑪ 継手 B . N	8×16		4	4	4	4	4	8	8	
	⑤ 押え金具	8×26×9		10	10	10	10	10	20	20	
⑥ 押え K - B . N			10	10	10	10	10	20	20		



エキスパンドフェンス (XF型)



注意

## ●施工注意点

①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。

②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。

③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。

④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。

⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

## ●取扱い注意点

①標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。

JFE 建材 株式会社